

# 育成会 かわさき



知的障害者親の会 会報 No.191

2018. 11. 1

## 第52回手をつなぐ育成会関東甲信越大会

川崎大会 平成30年9月14日(金)

「これからも ここで 暮らしたい」をテーマに開催しました。

大勢の方々のご協力を賜り、開催できましたことを心よりお礼申し上げます。



全体会会場 ミューザ川崎シンフォニーホール

分科会会場 川崎日航ホテル



## 第52回手をつなぐ育成会関東甲信越大会川崎大会 大会会長あいさつ

川崎市育成会手をむすぶ親の会  
会 長 結城 眞知子



開会に先立ちまして、7月の西日本豪雨、先週関西に襲来した台風21号、北海道胆振<sup>いぶり</sup>東部地震と大きな災害が続き、たくさんの方々が被災されました。亡くなられた方々へ心よりお悔み申し上げますとともに、被災された方々が1日も早く平穏な生活に戻れますようお祈りいたします。改めまして、本日は、第52回手をつなぐ育成会関東甲信越大会川崎大会にご参加いただきまして、ありがとうございます。

また、お忙しいなかご臨席を賜りました福田川崎市長をはじめご来賓の皆様、関係者の皆様、そして各地よりお越しく下さいました皆々様、ここ川崎の地に大勢の方々がお集りくださいまして誠にありがとうございます。

川崎市にとって、今回がはじめての関東甲信越大会です。川崎大会開催にあたり、準備は5年前から始めました。まず、関東甲信越からおいでいただくことを考え、利便性のうえでも川崎駅周辺の会場が良いということになりました。その中で、「音楽のまち・かわさき」らしい会場と言えばミュージア川崎が1番ふさわしいと候補にあがりましたが、音楽以外の使用は難しく、何度か足を運び、やっと今日のこの日が決まりました。この様に開催できましたことを大変うれしく思っています。

さて、私たち「手をつなぐ育成会」が目指す 障害のある人もない人も共に生きる共生社会の実現にはまだまだたくさんの課題があります。その現状を踏まえながら、大会テーマを「これからも ここで 暮らしたい」にいたしました。

午前中に川崎日航ホテルにおいて二つの分科会を開催しました。「働く」と「高齢」の分科会を通して障害があっても生きがいをもって、その人らしく地域の一員として暮らせるようにそれぞれの立場で考えました。

第1分科会は「働く」で、今までの固定観念にとらわれることなく、様々な働き方の選択肢を提示していただきました。

障害のある人の働き方を探る分科会でした。

第2分科会「高齢」では、親の支援なきあとの障害ある人の生活を考えました。親が必ず直面する切実な問題です。障害のある人の意思を尊重した「暮らし」を実現させるためのヒントがたくさんありました。

ご参加いただいた皆様には、今後の活動に少しでも参考になれば幸いです。

そして、この大会を通して、関東甲信越ブロックが共に協力し合う仲間として、更に結束を強める関係になれることを願っています。

大会式典終了後には、「音楽のまち・かわさき」にふさわしい記念コンサートがありますので、高橋さんの美しいソプラノの歌声と河原さんのステキなピアノ演奏を楽しんでいただきたいと思います。

結びに、本日お集まりいただきました皆様方に改めまして心よりお礼を申し上げ、ご挨拶といたします。

## 中央情勢報告

全国手をつなぐ育成会連合会  
会長 久保 厚子 氏



全体会の「中央情勢報告」で、次のような項目について、久保会長より、説明がありました。平成30年度の報酬改定のためにはじめて25団体が連携して要求をし、少しでも報酬を上げることができたとの報告がされました。

### 1. 障害福祉施策の予算等（抜粋）

- 重度の障害者への支援を可能とするグループホームの新たなタイプの創設（日中サービス支援型）
  - ・重度の障害者等に対して、日中もグループホームの利用ができる。また、他の日中活動サービスを利用することを妨げないような仕組みとする。
- 地域生活を支援する新たなサービス（自立生活援助）の創設
  - ・障害者支援施設等やグループホーム等を利用していた障害者で一人暮らしを希望する人などが対象者となる。

### 2. 平成30年度障害福祉サービス等報酬改定（抜粋）

- 「就労定着支援」の報酬の設定
  - ・一般就労へ移行した障害者で、生活の環境変化により生活面の課題が生じている人が対象となる。生活を整え、様々な機関との連携により本人を支えている。
- その他の障害福祉サービス等の報酬改定
  - ・入院中の支援（重度訪問介護）、基本報酬の一本化（同行援護）、夜勤職員配置の評価の見直し（施設入所支援）、対象者の見直し（自立訓練）があり、重度の障害者に報酬が付くようになった。
- 高齢障害者の介護保険サービスの円滑な利用
  - ・一定の高齢障害者に対し、一般高齢者との公平性を踏まえ、介護保険サービスの利用者負担を軽減（償還）できる仕組みを設ける。
- 共生型サービスの基準・報酬の設定
  - ・介護保険サービス事業所が共生型障害福祉サービスの指定を受ける場合（障害報酬）
  - ・障害福祉サービス事業所が共生型介護サービスの指定を受ける場合（介護報酬）

### 3. 地域での生活支援（抜粋）

- 地域生活支援拠点等の整備について
  - ・障害者の重度化・高齢化や「親亡き後」を見据え、**居住支援のための機能（相談、体験の機会・場、緊急時の受け入れ・対応、専門性、地域の体制づくり）**を、地域の実情に応じた創意工夫により整備し、障害者の生活を地域全体で支えるサービス提供体制を構築

この他、相談支援や障害者虐待防止対策、成年後見制度利用促進法と発達障害者支援についての説明もありました。全体的に、医療的ケア児者、障害児、高齢障害者や重度の障害者に対する新しいサービスの創設や指針が示された印象を持ちました。けれども、障害があっても地域で生きていくための支援をさらに充実させるためには、今後も引き続き、私たちの声を中央に届けていく必要性を感じました。 (仁尾 智都子)

## 大会宣言

2016年4月に障害者差別解消法が施行され、公の場での障害のある人への合理的配慮は随所で感じられるようになりましたが、まだまだ理解が進まないのが現状です。

その一方で、東京オリンピック・パラリンピックを契機に「ユニバーサルデザイン2020行動計画」が決定し、東京大会の最大のレガシーとすべく、全国において、ユニバーサルデザインの街づくりと心のバリアフリーに取り組んでいくことが記されています。

私たちも、すべての障害のある人が地域の一員として暮らしていけるように、主体的にかかわり、障害への理解促進に向けた更なる啓発活動を行うことが大切です。

今大会では、「働く」と「高齢」の二つの視点から、障害があってもその人が持つ可能性とその人らしさを失わないための支援について考えました。障害があっても人としての可能性を追求し、いつまでも自分らしく生きるための支援や制度とは何か、そして、大会テーマである「これからも ここで 暮らしたい」を実現させるためには何が必要なのかを考えました。

私たちは、障害があってもひとりの人間として尊重される地域共生社会が実現されるよう、次の項目について歩みを続けていくことを宣言いたします。

- 1、知的障害の理解の輪を広げ、多様な価値観を認め合えるように啓発活動を行ない、地域とのつながりを持てる共生社会の実現をめざします。
- 1、知的障害者がある人らしく生きていくために、本人の意思を尊重し、権利を守るために活動します。
- 1、障害があっても地域社会の一員として生活できるよう、支援のあり方を考えます。
- 1、育成会の活動を次世代につなげるよう協力し合います。

平成30年9月14日

第52回手をつなぐ育成会関東甲信越大会川崎大会



司会



大会宣言



次期開催地挨拶



閉会のことば



## 第52回手をつなぐ育成会関東甲信越大会川崎大会

本人会「バスツアー」川崎市藤子・F・不二雄ミュージアムと記念コンサート  
余暇活動委員会 安達 ゆかり

余暇活動委員会では、ご本人と支援者の方の16名を「藤子・F・不二雄ミュージアム」にご案内するため、福祉バスで出発しました。国際交流センターに到着し、食事前に、私たちの広場の村上道夫さんよりご挨拶がありました。時間短縮のため、各テーブルで自己紹介や情報交換をしていただき、お弁当を食べました。



その後、ミュージアムに向かい、個々に見学しました。館内は、原画の展示があり、音声ガイドで、「おぼけのQ太郎」「パーマン」「ドラえもん」の漫画作成時のエピソードを聞くことが出来ました。藤子先生の作業部屋の展示、本棚、ゴミ箱など、細かく再現されていました。短い滞在時間でしたが、参加者の皆さんは、ミニシアター上映やお土産のお買い物などを楽しまれていました。



帰りの車中は、お疲れの方もいて、おやすみタイムとなっていました。バス到着後、東芝科学館とミュージアム川崎に行く方に分かれ、解散となりました。参加の皆さんが、「川崎は、楽しかった」と思ってくださったと思います。

## 第1分科会 「働く」～新しい働き方の選択技を探る

研修事業推進委員会 磯 優子



講師：須藤 シンジ 氏 NPO 法人ピープルデザイン研究所 代表理事

講師：近藤 武夫 氏 東京大学先端科学技術研究センター 人間支援工学准教授

須藤シンジ氏からは、現在日本の人口の6%いる障害者がすべて働ける世の中を目指して活動されているお話を聞きました。活動の一つとして、等々力競技場で開催されるフロンターレ川崎（サッカー）の試合で障害者が働けるようコーディネートし、一般の健常者に障害者が

働く姿を見慣れてもらうという取り組みをされています。

近藤武夫氏からは、「超短時間雇用 IDEA」のお話を聞かせて頂きました。「超短時間雇用 IDEA」とは、働く能力はあるけれど長時間は働けないという障害者に、1日2時間や1週間に4時間だけなど超短時間で働いてもらうという取り組みです。

どちらもお二人の熱い思いが伝わるとても素敵なお話しでした。



2018年度版		生活サポート総合補償制度	
知的障害児者・自閉症児者のための		生活サポート総合補償制度	
<b>被保険者</b> (補償の対象者) 知的障害児者または自閉症児者をご加入できます。	<b>補償期間</b> (保険のご契約期間) <b>2018年4月1日から</b> <b>1年間</b>	<b>掛金</b> <b>入院2日目から補償プランB</b> 掛金… <b>23,000円</b> (保険料19,810円) <b>入院4日目から補償プランA</b> 掛金… <b>17,000円</b> (保険料14,810円)	
<small>詳細は担当代理店・協会または引受保険会社にお問い合わせください。また、ご契約に際しましては、事前に重要事項説明書(契約概要・注意事項)を必ずお読みください。引受保険会社の損害保険募集人は、保険契約の締結の代理権を有しています。 AIG損害保険と富士火災海上保険は、補償当分の認可等を前提として、2018年1月1日に合併による経営統合を行い、「AIG損害保険」になります。</small>			
<b>保険のお問合せはこちら</b>		<b>ご加入のお問合せはこちら</b>	
<small>担当代理店・協会</small> 株式会社 ジェイアイシー 〒160-0023 東京都新宿区西新宿3-2-11 新館三井ビル2号館2F TEL: 03-5321-3373 FAX: 03-5321-4774 受付時間: 午前9時～午後5時 (土・日・祝日・年末年始を除く)	<small>引受保険会社</small> AIG損害保険株式会社 (2018年1月1日以降) http://www.aig.co.jp 東京第二プロチャネル営業部 〒163-0814 東京都新宿区西新宿2-4-1 新館5ビル14階 TEL: 03-6094-9110 受付時間: 午前9時～午後5時(土・日・祝日・年末年始を除く)	<small>一般社団法人やまゆり知的障害児者生活サポート協会</small> 〒221-0644 神奈川県横浜市神奈川区沢田4-2 横浜川崎社会福祉会館内 TEL: 045-314-7716 FAX: 045-324-0426 受付時間: 午前9時～午後5時(土・日・祝日・年末年始を除く) 2017年11月現在の内容です。(A-000801 2018.11)	

※平成30年10月1日現在ご加入者は9,136名です。毎月1日付で加入できます。ご加入よろしくお願ひします。

## 第2分科会 「高齢」～親の支援なきあとの障害ある人の生活を考える

### 1. 基調講演 「高齢になっても ここで暮らすために」 講師：福岡 寿氏

長峯学園にお世話になって4年たったときに、園長から「コーディネーターをやってみないか。」と言われて、相談支援専門員としての仕事を始めました。最初のうちは、パッチワークのようにサービスを組み合わせることがこの仕事だと思っていましたが、地域生活移行をしていくうちに、障害のある本人を真ん中においた支援が大事だと気づかされました。本人の気持ちを読み取りながら、後ろを「何に心が動いたのかな？」と、追っていくやり方をすると、本人がいい顔になり、親御さんにも安心してもらえました。



『親亡きあと』といったとき、成年後見も大事、財産も大事、兄弟姉妹に託すのも大事でしょう。けれども、最も大事なものは、我が子に関して、最低でも3ヶ月に一回、集まって「どうする?」「どうする?」と、考えてくれる人を作れるかどうかです。それができていれば、「65歳になったから、介護保険制度に移りましょう。」といった制度上の約束でなく、本人の思いや健康状態、意欲などの視点からの支援が実現すると思います。

### 2. シンポジウム 「ここで暮らすを実現するために」

コーディネーター：又村 あおい氏 ～4月からスタートした「共生型類型」について～



65歳になり介護保険サービスに移る障害福祉サービスは、ヘルパーサービス、生活介護、短期入所です。また、65歳になっても引き続き使える障害福祉サービスは、行動援護・同行援護、就労移行・就労継続とグループホーム（介護保険では認知症の方のみ利用可）で、入所施設は介護保険適用除外です。また、課題もありますが、障害福祉サービス事業所に通っている人が、65歳になってもそのまま同じ事業所に通えるように、障害福祉サービス事業所が共生型介護サービスの指定を受けられるようになりました。

シンポジスト：佐藤 嘉晃氏 ～暮らし方の一つの事例として～

社会福祉法人大田幸陽会は、大田区で手をつなぐ育成会が結成され、親亡きあとや親の思いを具現化するために大田区の協力のもと、平成5年の3月に設立されました。親も子も、年を取っても地域で暮らせるように、グループホームとサービス付き高齢者向け住宅の入ったラナハウス西糞谷を、平成25年4月に創設しました。サービス付き高齢者向け住宅は、高齢化対策の一つとして、国土交通省の住宅施策と厚生労働省の福祉施策の連携から生まれました。サークル活動を行うなど、長屋のようなイメージで暮らしています。



シンポジスト：福岡 寿氏 ～自立支援協議会について～

北信地域障がい福祉自立支援協議会では、昨年、256回の部会・会議を開催したとのことです。事務局は、基幹相談センターです。自立支援協議会は、朝から晩まで地域のことを考える人間が何人いるかが勝負です。部会の「いってみてやって委員会」と「ニーズ聴きたい・つなげたい」のように、本人を真ん中に頑張ろうという活動の最終ゴールは、地域生活支援拠点だと思います。本気で自立支援協議会の活動をして欲しいです。

シンポジスト：田中 正博 全国手をつなぐ育成会連合会統括 ～地域包括ケアシステム～

育成会フォーラムで、少子高齢化、人口減少の話野沢和弘さん（毎日新聞論説委員）にしてもらいましたが、2025年問題、2040年問題と、人口の構成や地域格差などから、今後の我が国の社会保障には厳しい状況が待ち構えています。「地域包括ケアシステム」「我が事・丸ごと」の中に描かれているように、介護保険サービスと上手に出会い、上手に使っていくという前向きな姿勢も大事なのではないかと思います。

シンポジウムのあと、重度の知的障害がある人の高齢期についての質問がありました。相談支援や自立支援協議会のあり方が鍵になると感じました。（仁尾 智都子）

## 川崎市へ平成31年度予算要望書の提出

書記 吉野 明美

本会は知的障害のある人の家族の会として、障害のある人たちが地域に於いて障害の程度に拘わらず、各ライフステージに応じた適切な支援のもと安心して暮らせる事を願って活動しています。その活動の一つとして8月22日（水）に川崎市に次の要望を提出しました。



- ①特別支援学校卒業生在宅ゼロ施策の継続
- ②障害者の高齢化と家族の高齢化に向けた取り組み
- ③地域生活を支える保険・医療・福祉サービスの拡充
- ④障害者理解を深めるための啓発の積極的な推進
- ⑤障害者の所得保証（年金の保証・就労支援制度の拡充）
- ⑥災害時一時避難所の運営の再検討

親亡き後の心配の声が多い中、南部に入所施設の建設を要望し続け、やっと実現にこぎつけました。しかし、7月に行われた川崎市福祉センター跡地活用施設整備に関する説明会の内容は、到底受け入れられるものではありませんでした。内容の変更を強く要望し、公表された障害別入所者数に至ったプロセスについての説明会開催をお願いしました。

川崎市の最後といわれる入所施設であり、我々には大きな期待の施設です。納得のいく内容になるよう、これからも要望してまいります。

## 川崎市議会議員団各会派との懇談会

7月9日（月）みらい川崎市議会議員団、10日（火）公明党川崎市議会議員団、17日（火）日本共産党川崎市議会議員団と市への予算要望に向けての懇談会を行いました。三役と各区からの代表者が出席しました。

グループホームの整備（特に南部）、短期入所（ショートステイ）の拡充、各区に拠点施設の建設、災害時の避難所についての四項目を中心にお願いをしました。親の高齢化や病気などで親子が孤立しないように、拠点施設の強化を要望し現状を訴えました。グループホームの建設だけでなく、そこで働く人たちへの研修や手当の拡充などもお願いしました。

限られた予算の中で要望を実現できるように、議員の皆様も委員会や議会で質問をしてくださっているそうです。こういった地道な活動が私たちの要望の実現につながることを願いたいものです。

（梅田 順子）



「やまゆりとの共催研修会」のお知らせ ～知的障害疑似体験の役割とこれから～

日 時 平成30年12月10日（月） 10時10分～12時

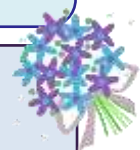
場 所 てくのかわさきホール \* 詳しくはチラシをご覧ください。

「平成31年 成人を祝う会」のお知らせ

日 時 平成31年1月19日（土） 12時30分（成人受付）～15時40分

場 所 川崎市民プラザ

主 催 成人を祝う会実行委員会



## 障害者雇用水増し問題について ～全国手をつなぐ育成会連合会の動き～

権利擁護委員会委員長 仁尾 智都子

8月に、障害者雇用について実際の雇用状況とは違った報告がなされているとの報道が相次ぎました。これを受けて、全国手をつなぐ育成会連合会では、8月24日、全国手をつなぐ育成会連合会の久保厚子会長より、「障害者雇用促進法における行政の不作為の改善を求める声明」が出され、障害者雇用への真摯な取り組みを求めました。

また、9月21日には、「公務部門における障害者雇用に関する関係府省連絡会議」の議長を務める加藤勝信 厚生労働大臣宛に「国・自治体等の障害者雇用の実態改善に関する意見書」も提出し、4つの視点から実態の把握と今後の方向性について意見を述べられましたので、お知らせいたします。

### 1. 「障害者雇用促進法における行政の不作為の改善を求める声明」の抜粋

国や自治体、関連する公的機関などには障害者雇用の水増しがあったか否かだけでなく、あった場合にはどうしてそうした対応が取られ、長年にわたり放置されてきたのか早急に調査・公表することを求めます。その上で、国や自治体等で障害者雇用を増やすためにどうしたら役所の仕事の中で障害者が活躍できる場をつくることのできるのか検討し、実現に向けて動き出してください。国会を始め地方議会では今回の不作為について徹底した対応を行い、真に法定雇用率を満たす改善となるまで働きかけ続けてください。

障害者の法定雇用率は、決して低くはないハードルです。しかし、少なくない民間企業がこれに真摯に向き合い、障害者が活躍できる場をつくるとともに、自らの組織や意識を変える努力をしてきました。いままさにそれが国や自治体に求められています。これまで長年にわたって積み重ねられてきた障害者雇用への取り組みが無駄にならないよう、国や自治体には厳しく改革を求めます。

### 2. 「国・自治体等の障害者雇用の実態改善に関する意見書」の抜粋

#### ○基本的な視点

国、特に障害者雇用施策を所管する厚労省は、自らが中心となり本事案（障害者雇用数の「水増し」）が発生した要因やメカニズムを調整、検証し、その結果を公表すべき

#### ○硬直的な雇用システムの見直し

▼公務員採用試験によらない非常勤での雇用の場合は、より長い期間働けるようにすること

▼公務員採用試験において、知的障害者をはじめとするコミュニケーションに困難さを抱える者にも配慮された試験方法を導入すること

#### ○知的障害者も働きやすい、選ばれる職場づくりを

先駆的な企業などから研修を受けるなどし、以下の点について取り組みを行うべき

▼働きやすい職場環境の整備

▼特性を生かせる業務内容の切り出し

▼長期に働くことができるようにするための支援

#### ○問題の解決について

国・自治体等（中央省庁、地方自治体及び関連する公的機関）には、現状の仕組みでは限界があることを認め、真に障害者がやりがいを持てる仕事、障害者に選ばれる職場をつくるためにはどうしたらいいか、根本から考え直す機会とすべき





## 海水訓練（海水浴）のつどい

7月25日（水）出発する時点では曇っていて海には入れるかどうか心配されましたが勝浦に着くとすっきりいいお天気となり夏らしい日射しの中での海水訓練となりました。

昼食はホテル三日月のランチバイキングを利用したり休憩室で食事をとったりしています。その後、海にはいる人、ホテルでゆっくり過ごす人など、それぞれ自由にすごしました。海に入った後は大浴場に行き、雄大な太平洋を眺めながらの贅沢な温泉を楽しみました。男性はボランティアさんの支援をうけているので安心して温泉に入っています。

帰る途中で千葉の名産品を購入し、海ほたるでちょっぴり長めの休憩を取り帰宅しました。  
（神田 明子）



## 平成30年度川崎市障害者作品展開催&出展作品募集のお知らせ

障害者が創作した作品を広く一般に公開することにより、文化交流及び障害者の社会参加推進を図り福祉の向上に寄与することを目的に開催します。

会 場 川崎市アートガーデンかわさき 第1展示室  
 展示期日 平成30年12月19日（水）～平成30年12月23日（日）  
 主 催 川崎市・川崎市障害者社会参加推進センター  
 応募資格 原則として市内在住・在勤・在学の障害児者（グループも可）  
 出品物等 当作品展に出展したことの無いもの  
 1部門につき1人1点（絵画、写真、書、手工芸、俳句・短歌、等）  
 申込期日 平成30年11月1日（木）～平成30年11月22日（木）  
 規格や申込み方法など、詳しい要綱につきましてはチラシをご覧ください。

### 《問い合わせ先》

川崎市障害者社会参加推進センター  
 〒210-0834 川崎市川崎区大島 1-8-6  
 電 話 044-246-6941 F A X 044-246-6943  
 メール zksk@nifty.com



平成29年度作品展

## つぶやき

娘が20歳を過ぎたころから、独り言が増え空想の世界に入り込んでいる様子が頻繁にみられるようになりました。

そのうち、空想の中の事が現実の事と入り混じっているようで、無かったことをあったかのように表現するようになり、施設でも職員に心配をかけることが出てきました。心療内科の先生に相談すると、「知的障害のある人には良くあること」と回答がありました。まだまだ私の知らない部分があることにびっくりです。

親の会の仲間に話すと「年齢とともに変化がある」のは珍しいことではないと言われホッとしました。同じ立場のお母さん達と話すことが大切だと思いました。



川崎市育成会手をむすぶ親の会活動報告  
 《平成30年7月23日～平成30年10月16日まで》

<各種会議、行事>

7月23日(月)	関ブロ川崎大会 大会資料打合せ	地域福祉施設「ちどり」
25日(水)	海水訓練	千葉県勝浦
27日(金)	三役会議(関ブロ川崎大会)	地域福祉施設「ちどり」
8月2日(木)	第3回研修事業推進委員会	地域福祉施設「ちどり」
7日(火)	第3回余暇活動委員会	地域福祉施設「ちどり」
20日(月)	三役会議	地域福祉施設「ちどり」
22日(水)	川崎市への予算要望	ソリッドスクエア
23日(木)	権利擁護委員会関ブロ打合せ	地域福祉施設「ちどり」
28日(火)	第3回広報委員会	地域福祉施設「ちどり」
29日(水)	三役会議(関ブロ川崎大会)	地域福祉施設「ちどり」
30日(木)	関ブロ川崎大会プロジェクト会議	地域福祉施設「ちどり」
9月4日(火)	三役会議(関ブロ川崎大会)	地域福祉施設「ちどり」
10日～11日	関ブロ川崎大会資料準備・発送	地域福祉施設「ちどり」
12日(水)	三役会議(関ブロ川崎大会)	地域福祉施設「ちどり」
14日(金)	第52回手をつなぐ育成会関東甲信越大会	川崎日航ホテル・ミュージア 川崎シンフォニーホール
21日(金)	第5回運営委員会	地域福祉施設「ちどり」
10月3日(水)	第3回権利擁護委員会	地域福祉施設「ちどり」
9日(火)	三役会議	地域福祉施設「ちどり」
16日(火)	第6回運営委員会	地域福祉施設「ちどり」
<対外行事>		
8月7日(火)	障害者団体部会	エポックなかはら
9月18日(火)	平成31年成人を祝う会第1回実行委員会	地域福祉施設「ちどり」
9月23日(日)	きらめき祭	中央支援学校
10月2日(火)	やまゆり知的障害児者生活サポート協会理事会	かながわ県民センター

賛助会費 (順不同・敬称略)

高井 恵美子	幸区南加瀬	30,000円	角田 政行	幸区下平間	20,000円
高麗 喜久江	幸区鹿島田	5,000円	結城 隆	川崎区藤崎	10,000円
匿名	中原区	3,000円	市田 榮重	多摩区菅城下	5,000円
鈴木 妙子	中原区市ノ坪	2,600円	関 公子	中原区上小田中	5,000円

\*1,000円以上の方を記載しています。

ふれあいバザールみぞのくち(ふれあい製品展示即売会)開催のお知らせ

日時 平成30年11月30日(金) 10時～18時  
 場所 JR南武線 武蔵溝ノ口駅改札外 南北自由通路





### 編集後記

会報191号では関東甲信越大会川崎大会の様子をお伝えします。当日は小雨の中、多くの方に参加していただきました。大会後のあわただしい中でしたが、この紙面を作成しました。掲載した記事を通して川崎大会の雰囲気が伝われば嬉しいです。

(広報委員 小澤 千枝)

#### 【も く じ】

- P. 1... 手をつなぐ育成会関東甲信越大会川崎大会
- P. 2... 大会会長あいさつ
- P. 3... 大会中央情勢報告
- P. 4... 大会宣言
- P. 5... 本人会バスツアー／第1分科会「働く」／やまゆり広告
- P. 6... 第2分科会「高齢」
- P. 7... 平成31年度予算要望書の提出／川崎市市議団各党派との懇談会／やまゆりとの共催研修会のお知らせ／平成31年成人を祝う会お知らせ
- P. 8... 障害者雇用水増し問題について
- P. 9... 支部通信／私たちの広場
- P. 10... 海水訓練のつどい／障害者作品展開催と募集のお知らせ／つぶやき
- P. 11... 親の会活動報告／賛助会費／ふれあいバザールみぞのくち開催のお知らせ
- P. 12... 川崎大会写真掲載／編集後記／もくじ

発行責任者 川崎市育成会手をむすぶ親の会 会長 結城 眞知子  
 〒213-0011 川崎市高津区久本3-6-22 地域福祉施設「ちどり」  
 TEL: 044-812-2966 FAX: 044-813-1216 <http://web-k2.jp/ikusekai-kawasaki>